

第4回あつぎ子ども議会（中学生議会）会議録

厚 木 市

第4回あつぎ子ども議会（中学生議会）会議録

令和4年8月19日（金）午後1時15分開会

出席議員 22人

1番	荻野中学校	佐藤	藤	桒	々	香
2番	森の里中学校	石井	井	優		衣
3番	小鮎中学校	落合	合	凜		帆
4番	南毛利中学校	川畑	畑	智		生
5番	玉川中学校	中森	森	波		奈
6番	南毛利中学校	岩野	野	颯		希
7番	厚木中学校	佐々木	々			心
8番	南毛利中学校	松澤	澤			歩
9番	依知中学校	島山	山	桃		亜
10番	小鮎中学校	牧村	村	愛		羽
11番	厚木中学校	鈴木	木	悠		斗
12番	厚木中学校	岩坂	坂			瞳
13番	厚木中学校	庭木	木	創		大
14番	小鮎中学校	池田	田	優		芽
15番	睦合中学校	梅澤	澤	宣		考
16番	小鮎中学校	清水	水	雷		斗
17番	睦合中学校	山本	本	煌		心
18番	睦合中学校	田崎	崎	開		成
19番	睦合中学校	小本	本	真		子
20番	睦合東中学校	常盤	盤	大		海
21番	厚木中学校	原		乃	ノ	穂
22番	依知中学校	井上	上			駆

欠席議員 なし

説明のための出席者

市長	小霜	林島	常宏	良美
副市長	上柳	前田	宏行	男美
副市長	佐藤	藤林	眞由	登男
市長	若安	齊間	伸博	之彦
市長	岸石	井野	俊正	彦一
市長	大山	下地	徳喜	一典
市長	菊飛	地田	尚善	美諭
市長	野小	間舟	善	雄強
部長	湯高	橋上	幸知	雄司
部長	見鈴	木藤		徹登
部長	鈴内	宮丸		悟昭
部長	二中	後中	卓哲	夫弘
部長	岸佐	田八	康佳	親之
部長	田八	木沼	宏義	之土
部長	長井	上津	亜一	浩一
局長	中	林	慎辰	夫
局長	小			

事務局出席者

局長	小泉	祐司
長	神崎	俊一
幹	富塚	優子

速記員出席者

(株)澤速記事務所速記士 大場 久美子

議 事 日 程

- 1 議席の指定
- 2 会議録署名議員の指名
- 3 会期の決定
- 4 一般質問

番号	学校名	子ども議員名	質問要旨
1	荻野中学校	佐藤埜々香	ウクライナへの大々的な支援の予定は
2	森の里中学校	石井優衣	中・高生の社会参画推進に対する市の考えは
3	小鮎中学校	落合凜帆	学校給食の食べ残しをゼロにするため、給食費を市が負担するのは可能ですか
4	南毛利中学校	川畑智生	厚木市が目指すSDGsにおける学校給食のフードロスの取組についての考えは
5	玉川中学校	中森波奈	部活動を盛り上げるために、どのような支援をしていただけますか
6	南毛利中学校	岩野颯希	Jリーグのクラブの誘致の考えはありますか。また、スポーツ観戦等と厚木市の魅力を掛け合わせるような事業計画があれば教えてください
7	厚木中学校	佐々木心	新図書館建設について、中学生だけの自主学習スペースを設置する予定はありますか
8	南毛利中学校	松澤歩	公共施設予約システムの在り方や問題点を教えてください
9	依知中学校	畠山桃亜	通学路における標識の工夫や道幅の拡張への考えは
10	小鮎中学校	牧村愛羽	中学校への自転車通学を認めることはできますか
11	厚木中学校	鈴木悠斗	厚木市内の商業施設の減少及び誘致についての考えは
12	厚木中学校	岩坂瞳	本厚木駅周辺における10代が楽しめる場所についての考えは
13	厚木中学校	庭木創大	本厚木駅周辺の夜の治安改善への考えは
14	小鮎中学校	池田優芽	障害者のための特別支援学校を設置する予定はありますか
15	睦合中学校	梅澤宣考	体育館へのエアコン設置の考えは
16	小鮎中学校	清水雷斗	授業の一環として、図書室を利用する時間を設ける考えは
17	睦合中学校	山本煌心	クロームブックの活用幅をもっと広げることへの検討は
18	睦合中学校	田崎開成	ジャージ登下校を許可する考えは
19	睦合中学校	小本真子	地域に掲示している看板を新しくするのはどうですか

本日の付議事件

- 1
 - く 議事日程に同じ
 - 4
-
-

○神子雅人実行委員長 皆様、こんにちは。
第4回あつぎ子ども議会に御参加をいただき
まして、誠にありがとうございます。私は、
第4回あつぎ子ども議会実行委員会実行委員
長の神子雅人でございます。

ただいまから出席者の御紹介をさせていただきます。

初めに、子ども議員を紹介いたします。

子ども議員の前列から順に紹介しますので、
名前が呼ばれましたら、元気よく返事を
していただき、起立、礼、着席の順でお願い
します。

荻野中学校・佐藤埜々香議員。

○佐藤埜々香議員 はい。

○神子雅人実行委員長 森の里中学校・石井
優衣議員。

○石井優衣議員 はい。

○神子雅人実行委員長 小鮎中学校・落合凜
帆議員。

○落合凜帆議員 はい。

○神子雅人実行委員長 南毛利中学校・川畑
智生議員。

○川畑智生議員 はい。

○神子雅人実行委員長 玉川中学校・中森波
奈議員。

○中森波奈議員 はい。

○神子雅人実行委員長 南毛利中学校・岩野
颯希議員。

○岩野颯希議員 はい。

○神子雅人実行委員長 厚木中学校・佐々木
心議員。

○佐々木 心議員 はい。

○神子雅人実行委員長 南毛利中学校・松澤
歩議員。

○松澤 歩議員 はい。

○神子雅人実行委員長 依知中学校・畠山桃
亜議員。

○畠山桃亜議員 はい。

○神子雅人実行委員長 小鮎中学校・牧村愛
羽議員。

○牧村愛羽議員 はい。

○神子雅人実行委員長 厚木中学校・鈴木悠
斗議員。

○鈴木悠斗議員 はい。

○神子雅人実行委員長 厚木中学校・岩坂瞳
議員。

○岩坂 瞳議員 はい。

○神子雅人実行委員長 厚木中学校・庭木創
大議員。

○庭木創大議員 はい。

○神子雅人実行委員長 小鮎中学校・池田優
芽議員。

○池田優芽議員 はい。

○神子雅人実行委員長 睦合中学校・梅澤宣
考議員。

○梅澤宣考議員 はい。

○神子雅人実行委員長 小鮎中学校・清水雷
斗議員。

○清水雷斗議員 はい。

○神子雅人実行委員長 睦合中学校・山本煌
心議員。

○山本煌心議員 はい。

○神子雅人実行委員長 睦合中学校・田崎開
成議員。

○田崎開成議員 はい。

○神子雅人実行委員長 睦合中学校・小本真
子議員。

○小本真子議員 はい。

○神子雅人実行委員長 厚木中学校・原乃ノ
穂議員。

○原乃ノ穂議員 はい。

○神子雅人実行委員長 依知中学校・井上駆
議員。

○井上 駆議員 はい。

○神子雅人実行委員長 睦合東中学校・常盤
大海議員。

○常盤大海議員 はい。

○神子雅人実行委員長 次に、厚木市議会議
長を紹介いたします。

井上武厚木市議会議長です。

○井上 武厚木市議会議長 はい。

○神子雅人実行委員長 次に、市の関係者を
紹介させていただきます。

子ども議員の皆様から向かいまして左手前
列、右から、小林常良厚木市長です。

○小林常良市長 よろしくお願ひします。

○**神子雅人実行委員長** そのお隣が霜島宏美副市長です。

○**霜島宏美副市長** 皆さんこんにちは、よろしくお願ひいたします。

○**神子雅人実行委員長** そのお隣が上前行男副市長です。

○**上前行男副市長** よろしくお願ひします。

○**神子雅人実行委員長** 右手前列に参りまして、佐後佳親教育長です。

○**佐後佳親教育長** こんにちは、よろしくお願ひします。

○**神子雅人実行委員長** 最後に、両側の2列目以降につきましては市の各部長となりますが、お手元に配付の資料により紹介とさせていただきますので、よろしくお願ひします。

それでは、子ども議員の皆様並びに理事者の皆様、御起立願ひます。

一同、礼。

御着席願ひます。

ここで井上武厚木市議会議長から挨拶をいたします。

○**井上 武厚木市議会議長** （登壇）子ども議員の皆様、こんにちは。私、ただいま御紹介いただきました厚木市議会議長の井上武と申します。

本日は、外は30度を超える暑さの中でありますけれども、こうして皆さん御参加いただきまして、本当にありがとうございます。感謝申し上げます。

先ほど御紹介がありましたとおり、前列にお座りいただいているのが小林常良厚木市長、そして霜島宏美副市長です。そして上前行男副市長、そしてこちらが皆さん御存じ、佐後佳親教育長でございます。そして、こちらにいらっしゃるのが市の職員の皆様方、部長さん方でございます。ここまで、本当に皆さんお忙しい中、連日準備に御協力をいただき、そして今日もこうして最後まで御協力いただきますこと、この場をお借りして感謝を申し上げたいと思います。最後までどうぞよろしくお願ひいたします。

さて皆さん、皆さんのお顔を拝見しておりますと、リハーサルのとくとちょっと違いま

して、すごく緊張しているなという雰囲気を感じます。大丈夫です。肩の力を抜いていただいて、ふだんの力を十分に発揮していただいて、元気に大きな声で参加していただければと思います。

ふだん、この場は議場という場でありませぬ。ここで皆様方が生活に直結するような大事な事柄を議論されたり、意思決定されたりしている場です。皆さんがふだんなかなか経験することができない場だと思ひます。ぜひとも今日は貴重な時間にしていただきたいと思ひますし、本当に皆さんの人生にとってすばらしい時間になることを祈念申し上げたいと思ひます。

最後までよろしくお願ひを申し上げ、御挨拶に代えさせていただきます。どうぞ最後までよろしくお願ひいたします。

○**神子雅人実行委員長** ありがとうございます。

次に、小林常良厚木市長から御挨拶をいただきます。

○**小林常良市長** （登壇）皆さん、こんにちは。よくおいでいただきました。今御紹介いただきました厚木市の小林常良と申します。

議場にお集まりの22人の子ども議員の皆様、本日は第4回目のあつぎ子ども議会中学生議会に御出席いただきました。私からもお礼を申し上げます。本当にありがとうございます。

この子ども議会でございますけれども、中学生の皆さんが、日々の生活の中で厚木市のまちづくりについてどのように考え、将来への希望を持っているかをお聞きする大変貴重な場であると思っております。この広い議場で、大人の人を前にして質問されるわけですが、先ほど井上武議長からお話がありましたように、緊張する必要は一つもございませんので、自分らしく、勇気を持って、思いを発表していただければと思っております。

そして、今日皆さんからいただいた御意見や御提案、その声を私どもは真摯に受け止めてさせていただきます、その声を前向きに生かして

いきたい、こんなふうに考えているところ
あります。

皆さんにとって今日は大変いい経験になる
と思いますし、皆さんのこれからの成長の糧
となるわけであります。今日の子ども議
会をきっかけに、これからも様々なこと
にチャレンジをしていってほしいと思
います。

傍聴席にお座りいただきました保護者の
皆さん、平素から市政全般に当たり
まして御指導と御協力をいただい
ておりますこと、厚く御礼を申し
上げます。改めて、御多用の
ところを傍聴に来ていただきま
して、ありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症が確認されて
から、はや2年半が過ぎたところ
であります。現在は第7波とい
うことであります。その感染
力は衰えるところを知りませ
ん。私は、市民の皆様の命と暮
らしを守り抜くのが最大の使
命であると考えております。ワ
クチン接種の体制や医療提供
体制の充実、感染症の影響を
受けた皆さんへの経済支援、
様々な対策を行ってまいり
ました。これからも、感染症
拡大防止と収束に全力を傾
け、コロナに負けない厚木
をつくっていきたくと思っ
ております。

本市では、昨年4月スタート
いたしました、厚木市の基本
的な仕事をしていく方針の
総合計画というのがござ
います。総合計画あつぎ元
気プランに掲げた将来都市
像は「自分らしさ輝く 希
望と幸せあふれる 元気な
まち あつぎ」、この実現
を私たちは目指して
おります。この将来都市
像には、全ての人々が
多様性を認め合いなが
ら安心して暮らし、自
らが進む将来に向か
って歩むことができる
まち、そして、先人
が守り育ててきた自然
や文化、産業など魅力
ある資源を最大限に生
かし、将来にわたって
活気あふれたまちを
実現する思いが込め
られております。この
思いをしっかりと具
現化し、一人一人が
自分らしく輝き、そ
の輝きがまち全体も
輝かせ、たくさんの
希望と幸せを生み
出す社会を目指して
まいりますので、皆
様には一層の御理解
と御協力をお願い
申し上げます。

最後になりましたが、あつぎ子
ども議会中学生議会の開催に
当たり多大な御尽力をいた
だきました井上武市議会議
長、神子雅人実行委員
長をはじめとする市議
会の皆さん、保護者、
学校関係者の皆様、そ
して子ども議員の皆
様に感謝を申し上げると
ともに、本日の子ども
議会が皆様の協力によ
り意義深いものとな
りますことを祈念いた
しまして、開会に当
たりまして私からの挨拶
とさせていただきます。
どうぞよろしくお願い
します。

○神子雅人実行委員長 ありがとう
ございました。

それではこの後、睦合東中
学校・常盤大海議長の議
事進行により、あつぎ子
ども議会を進めてまい
ります。

それでは、常盤議長、よ
ろしくお願いいた
します。

○常盤大海議長 ただいまの出席
議員は22人で定足数に
達しております。

ただいまから第4回あつ
ぎ子ども議会中学生議
会を開会いたします。

本日の議事日程は、お
手元に配付してあり
ます日程表のとおり
です。

**○常盤大海議長 日程1「議席の
指定」**を行います。

議席は、厚木市議会会
議規則に準じ、議長
において指定いた
します。

議席番号1番から22
番まで、ただいま御
着席の議席を指定
いたします。

**○常盤大海議長 日程2「会議
録署名議員の指名」**
を行います。

厚木市議会会議規則
に準じ、第4回あつ
ぎ子ども議会の会
議録署名議員を議
長から指名いた
します。

小鮎中学校・落合凜
帆議員、厚木中
学校・鈴木悠斗議
員、睦合中
学校・小本真子
議員の3人にお
願いいたします。

**○常盤大海議長 日程3「会
期の決定」**を議
題といたします。

お諮りいたします。第4回あつぎ子ども議会の会期は、本日1日とすることに御異議ありませんか。

(「異議なし」との声あり)

御異議なしと認めます。よって会期は本日1日と決定いたしました。

○常盤大海議長 日程4「一般質問」を行います。

通告に従い、順次質問を許します。

まず、第1グループの質問から行います。

荻野中学校・佐藤埜々香議員。

森の里中学校・石井優衣議員。

最初に、荻野中学校・佐藤埜々香議員。

○1番 佐藤埜々香議員 (登壇) 荻野中学校の佐藤埜々香です。よろしくお願ひします。

2022年2月24日から始まったロシアによるウクライナ侵攻について質問します。

長期化するウクライナ侵攻が、最近はニュースでも多く取り上げられています。そこで、厚木市はどのような取組を行っているのかをインターネットで調べたところ、以前に厚木市の駅前付近で募金活動を行っていたことを知りました。私も何か力になりたいと思っていますが、気軽に参加できるものがなく、なかなか実行できずにいます。そのことを踏まえて質問します。

今後、各学校を巻き込んで募金活動を行うなど、大々的に支援を行う予定はありますか。

○常盤大海議長 次に、森の里中学校・石井優衣議員。

○2番 石井優衣議員 (登壇) 森の里中学校の石井優衣です。よろしくお願ひします。

現在、選挙に参加する年齢が18歳と引き下げられました。成人になり、大人の仲間入りをするのも18歳です。これは高校を卒業したらずぐに大人として扱われてしまうということで、今まで以上に早く社会を知ること、慣れること、社会への参加が求められているということではないでしょうか。だから、厚木市の中・高生が市内で職場体験やインターン

シップ、アルバイトを盛んに行える場が必要だと思ひます。

そこで質問します。

中・高生が少しずつ社会に参加するための対策として、厚木市はどのように考えているのかお聞かせください。

○常盤大海議長 市長。

○小林常良市長 (登壇) 荻野中学校・佐藤埜々香議員から、ウクライナへの大々的な支援の予定はどの御質問でございますが、国際平和と核兵器廃絶を求める都市宣言をしている厚木市では、世界の平和を願う国際社会の一員として、今回の侵攻の報道を受けてすぐに市民の皆様から救援金を募り、283万8000円を避難民を支援する国連の機関にお送りしました。また、祖国を離れ、厚木市に避難してくるウクライナの皆様を受け入れることができるよう、住宅や生活物資の提供など様々な支援をする体制も整えています。

ウクライナへの支援に関しては、市民の皆様が自ら考え、行動することも大切だと考えています。

学校での取組については、生徒の皆さんで話し合い、募金以外の方法も含めてアイデアを出し合い、形にはいかがでしょうか。全国では、生徒たちが自ら募金活動を立ち上げ、校内や街頭で募金を呼びかけた例もあります。厚木市では、そうした自主的な取組を各学校へ紹介し、広めるなどの支援をしています。

今後の復興には様々な困難があり、人々が心に受けた傷が癒やされるまでにはとても長い時間がかかります。佐藤埜々香議員も、平和への願ひが広がり、いつまでも続いていくよう、生徒の皆さんと語り合い、思いを伝えていってください。

次に、森の里中学校・石井優衣議員から、中・高生の社会参画推進に対する市の考えはどのお尋ねでございますが、厚木市の多くの中学校では、中学生が働くことの意義を理解し、自分なりの勤労観、職業観を身につけることなどを目標として職場体験学習に取り組んでいるところです。

市内の公共機関等においても、公民館では貸館業務の補助や公民館まつり等の準備、消防署では消防訓練や救急訓練など、中学生の皆さんが様々な職業などを体験できるよう積極的に受け入れています。また、中・高生などを対象とした夏休みボランティア体験やジュニアリーダーの育成等を実施しており、自分たちの暮らす地域社会の様々な活動に関心を持つきっかけづくりを行っています。

次代を担う中・高生の皆さんにとって、職場体験などを通して社会に参画することは、学ぶこと、働くこと、生きることの尊さを理解してもらう大変よい機会であると考えています。

これからも中・高生の皆さんが社会参画できる場づくりに取り組んでいきますので、石井優衣議員も社会参画に対する関心を持ち続けていただき、市の取組に積極的に参加してください。

○常盤大海議長 以上で第1グループの質問を終わります。

次に、第2グループの質問に移ります。

小鮎中学校・落合凜帆議員。

南毛利中学校・川畑智生議員。

最初に、小鮎中学校・落合凜帆議員。

○3番 落合凜帆議員 (登壇) 小鮎中学校の落合凜帆です。よろしくをお願いします。

私は給食費について質問します。

毎日、学校では給食の食べ残しが大量に廃棄されています。それを厚木市ではゼロにしたいです。なぜなら、食べ物がもったいないというだけでなく、食品を廃棄するために大量の資源が使われていて、環境に悪いからです。

私は、その問題を改善するために、個人に合った量の給食を設定し、クラス単位で注文するのはどうかと考えました。ですが、そこには給食の量によって変わる給食費の問題があります。

そこで、給食費を市が負担するのは可能なのかについて質問します。

○常盤大海議長 次に、南毛利中学校・川畑智生議員。

○4番 川畑智生議員 (登壇) 南毛利中学校の川畑智生です。よろしくをお願いします。

私は、小・中学校で給食を食べていて、必ず食べ残しがあり、もったいないと感じていました。それと同時に、残ったものをどうしているのかと思いました。ある一般のお店で、調理中に出る野菜くずや食べ残しなどは、コンポストを利用して、それらの食品残渣を堆肥として再利用するなど、食品ロス削減のほかに、サステナブルな活動も力を入れていると聞いたことがあります。

また、コンビニエンスストアやスーパーマーケットなどの食品で消費・賞味期限が切れたらどうしているのかと疑問に思いました。

質問します。

学校給食におけるフードロスによる今後の取組について教えてください。

また、厚木市全体のフードロス削減について知りたいです。

○常盤大海議長 教育長。

○佐後佳親教育長 (登壇) 小鮎中学校・落合凜帆議員から、学校給食の食べ残しをゼロにするため、給食費を市が負担するのは可能ですかとの御質問ですが、学校給食については、文部科学省が定めた基準により、生徒1人が1回の食事で必要な栄養やエネルギー量を摂取できるよう、栄養士が献立を作っています。給食を食べる量には個人差もあると思いますが、成長期に必要なエネルギー量を確保するため、残さず食べていただきたいと思っています。

また、給食費については、学校給食法により、学校給食の実施に必要な施設や設備に要する経費などは市が負担することとし、それ以外の食材費については保護者の負担とすることが規定されています。

厚木市では、全ての中学校に安心・安全な給食を提供するための新たな学校給食センターが完成し、今年度の2学期から、最新の調理機器によりさらにおいしい給食を提供いたしますので、落合凜帆議員も、残さず給食を食べていただき、学校給食の食べ残しゼロを目指して御協力ください。

○常盤大海議長 市長。

○小林常良市長 （登壇）南毛利中学校・川畑智生議員から、厚木市が目指すSDGsにおける学校給食のフードロスの取組についての考えはとの御質問でございますが、学校給食におけるフードロスは食べ残しがほとんどを占めております。給食をおいしく残さず食べるのが、フードロス削減のための第一歩となります。それでも発生する給食残渣については、食品リサイクル施設でバイオエネルギー化をするなど、2050年カーボンニュートラルの実現に向けた取組を進めています。

厚木市の家庭から出される燃えるごみのうち、フードロスは2割以上を占め、市民の皆様一人一人が毎日おにぎり1個分を捨てていることとなります。一方、コンビニストアやスーパーマーケットなどの食料品の売れ残りや、飲食店での食べ残しなどもフードロス全体の約半分を占めております。

これまで厚木市では、使いキリ、食べキリ、水キリの3つのキリのうち、フードロスの削減につながる食材を使い切る使いキリ、残さず食べる食べキリの徹底を市民の皆様にお願いとするとともに、会食時などの食べ残しをなくすため、最初の30分間と最後の10分間を料理を残さず食べる時間とする3010運動の推奨や、小・中学校での環境学習の実施など、フードロスの削減に取り組んできました。今年度は厚木市食品ロス削減推進計画を策定し、フードロスの削減にさらに取り組んでいきます。

川畑智生議員も、給食をおいしく残さず食べていただくとともに、フードロスの問題に対する関心を持ち続けていただき、フードロスのない厚木市と一緒に目指していきましょう。

○常盤大海議長 以上で第2グループの質問を終わります。

次に、第3グループの質問に移ります。

玉川中学校・中森波奈議員。

南毛利中学校・岩野颯希議員。

最初に、玉川中学校・中森波奈議員。

○5番 中森波奈議員 （登壇）玉川中学校

の中森波奈です。よろしくお願いいたします。

私は現在、陸上部で活動していますが、陸上の県大会などに進む選手が厚木市の中学校からは少ないように感じます。もっと県大会などに進む選手を増やすために、部活動をより活発にする必要があると思います。例えば外部からの指導や、ほかの学校との合同練習会、競技場を使いやすくする送迎バスの運行などが考えられます。

部活動を盛り上げるために、どのような支援をしていただけますか。教えてください。

○常盤大海議長 次に、南毛利中学校・岩野颯希議員。

○6番 岩野颯希議員 （登壇）南毛利中学校の岩野颯希です。よろしくお願いいたします。

厚木市は、住みたい街ランキングにランクインし、厚木市の子育て世代の支援や駅前再開発等が評価されています。僕はもっと厚木市の魅力をたくさんの人に知ってもらいたく、観光に注目しました。鮎まつりや大道芸でもたくさんの人でにぎわっていますが、1年に一度です。

僕はサッカー部に所属していて、大好きなサッカーと厚木市を継続的につなげられないかと考え、Jリーグで活躍するクラブを厚木市に誘致したいと思いました。毎週末、試合観戦に訪れる人たちが、B級グルメや厚木市の自然を楽しんだり、飯山などの温泉に泊まることで、厚木市の魅力を知ってもらえるとともに、観光業の発展にもつながると思います。

Jリーグのクラブの誘致についてお答えください。

また、このようなスポーツ観戦等と厚木市の魅力を掛け合わせるような事業計画があれば教えてください。

○常盤大海議長 教育長。

○佐後佳親教育長 （登壇）玉川中学校・中森波奈議員から、部活動を盛り上げるためにどのような支援をしていただけますかの御質問でございますが、教育委員会では、顧問の先生と協力しながら技術指導を行う部活動指導協力者と、顧問の先生と同じ立場で部活

動の指導を行うことができる部活動指導員を配置し、生徒の皆さんの個性を伸ばし、心豊かにたくましく生きる力を育むための教育環境を整備しています。

また、部活動をサポートする取組として厚木市スポーツ協会が実施するあつぎスポーツアカデミーや、厚木市と協定を締結している日本体育大学によるスポーツ指導などにより、トップアスリートから直接指導を受けることができる機会を設けています。

さらに、関東・全国大会等派遣費補助金を交付し、県大会、関東大会、全国大会等に出場する生徒の皆さんを支援しています。

今後も、部活動に自主的、自発的に参加する生徒の皆さんが大いに活躍し、豊かな学校生活を実現することができるよう、部活動の振興や環境の整備に取り組んでいきます。

中森波奈議員も、部活動に携わっていただいている顧問の先生方をはじめ保護者や地域の方々への感謝を忘れずに、自分や部の目標に向かって部員の皆さんと協力して、部活動を盛り上げていってください。

私からは以上でございます。

○常盤大海議長 市長。

○小林常良市長（登壇）南毛利中学校・岩野颯希議員から、Jリーグのクラブの誘致の考えはありますか。また、スポーツ観戦等と厚木市の魅力を掛け合わせるような事業計画があれば教えてくださいとの御質問ですが、Jリーグのクラブ誘致については、研究を重ねていく必要がありますが、現在、厚木市では、JリーグのJ1で活躍する湘南ベルマーレのホームタウンとなっているほか、厚木市からJリーグ参入を目指すはやぶさイレブンの活動をサポートするとともに、両チームと連携してサッカー教室などの事業を行っています。

はやぶさイレブンのホームゲームでは、多くのファンの皆様で会場は大きくにぎわっています。これからも市民の皆様と共に応援し、地域に密着したサッカークラブへの支援に努めていきます。

また、スポーツ観戦等と厚木市の魅力を掛

け合わせた事業については、湘南ベルマーレの厚木ホームタウンデーなどの機会を捉えて、厚木市観光協会が観光PRを行っています。

さらに、今年11月には、60歳以上の選手が集い、スポーツや文化の交流を図るねんりんピックが厚木市をはじめ神奈川県内全域で開催されるので、全国から集まる参加者に対し、豊かな自然、温泉やグルメといった厚木市の魅力ある観光資源を紹介するなど、機会を捉えた観光プロモーションに力を入れていきます。

岩野颯希議員も、厚木市の魅力をいろいろな人たちにお伝えいただくとともに、大好きなサッカーを通して心身を鍛え、充実した学校生活をお過ごしください。

○常盤大海議長 以上で第3グループの質問を終わります。

ただいまの第1グループから第3グループの質問に対する答弁について、子ども議員から再質問はございますか。——別になければ以上で終わります。

ここで10分間休憩いたします。

午後1時59分 休憩

午後2時08分 開議

○原 乃ノ穂議長 再開いたします。

第4グループの質問に移ります。

厚木中学校・佐々木心議員。

南毛利中学校・松澤歩議員。

最初に、厚木中学校・佐々木心議員。

○7番 佐々木 心議員（登壇）厚木中学校の佐々木心です。よろしくお願ひします。

僕は、新たな厚木市立図書館建設について質問します。

現在の図書館の自主学習スペースを利用しにくいと感じていたので質問したいと思いました。

2025年度に建設完了を目指す厚木市立図書館ですが、館内に中学生だけが自主学習として利用できるスペースや調べ物ができるスペースをつくる予定はありますか。

また、そのようなスペースでなくても、中

学生の勉強などの悩みを高校生や大学生が聞いて相談に乗ってくれるなどといったことも行ってほしいです。

この2点について、現在予定していることはあるか教えてください。

以上で質問を終わります。

○原 乃ノ穂議長 次に、南毛利中学校・松澤歩議員。

○8番 松澤 歩議員 (登壇) 南毛利中学校の松澤歩です。よろしくお願ひします。

私は、サッカー部の一員として、技術力向上のために公共施設を利用させていただくことがしばしばあります。そして、その際に公共施設予約システムというものがあると知り、利用してみようと思ったのですが、予約なしに公共施設を利用している人がいたため、どういうときにこの予約システムを使用すればよいのか気になりました。

公共施設予約システムについての在り方や問題点について詳しく教えてください。

以上で質問を終わります。

○原 乃ノ穂議長 市長。

○小林常良市長 (登壇) 厚木中学校・佐々木心議員から、新図書館建設について、中学生だけの自主学習スペースを設置する予定はありますかとのお尋ねでございますが、新たな図書館を含む複合施設については、現在、基本設計と呼ばれる施設の大まかな内容を決める作業をしているところです。新たな図書館には、中学生専用のスペースを設ける予定はありませんが、読書や調べ物、自習のスペースをこれまで以上に充実させるよう検討しています。

また、複合施設内には、中学生や高校生などの青少年の皆様を優先するスペースを設けることを考えており、これからの厚木市の未来を担っていただく10代の青少年の皆さんが自立的に成長することができる交流、活動の場となることを目指しています。この青少年向けスペースの具体的な活用方法やルールにつきましてはまだ決まっていますが、御質問にもありました中学生の相談への対応なども含めて、今後、青少年の皆様の御意見をお

聞きしながら決めていく予定です。

佐々木心議員も、複合施設が完成した際には、同世代の仲間との交流や活動の場として、ぜひ積極的に御利用いただきたいと思います。

次に、南毛利中学校・松澤歩議員から、公共施設予約システムの在り方や問題点を教えてくださいとの御質問であります。厚木市では、市民の皆様がスポーツや文化・芸術活動などを行う場所として、グラウンド、体育館等のスポーツ施設や、市民交流プラザ、公民館などの施設を貸し出しています。これらの公共施設を利用する場合には、公共施設予約システムに利用者登録をし、必ず事前に予約していただくことが必要となります。

公共施設予約システムの登録方法や予約方法については、利用者登録時に説明をするのと同時に、各施設の窓口や市のホームページなどでお知らせもしています。

なお、河川敷などにある管理人を置いていないスポーツ施設については、事前の予約が必要なことを現地に設置した看板などでお知らせしているところです。

松澤歩議員も、施設を使う場合は事前の予約が必要であることについて、チームの仲間や御家族に話をさせていただき、たくさんの方が気持ちよく施設を使えるよう、周知に御協力をお願いします。

また、予約をしないで使っている人を見かけましたら、市にお知らせをしてほしいと思います。

○原 乃ノ穂議長 以上で第4グループの質問を終わります。

次に、第5グループの質問に移ります。

依知中学校・畠山桃亜議員。

小鮎中学校・牧村愛羽議員。

最初に、依知中学校・畠山桃亜議員。

○9番 畠山桃亜議員 (登壇) 依知中学校の畠山桃亜です。よろしくお願ひします。

私は学区外から通学しているのですが、朝、時間指定されている道路の標識に気づいていないのか、私が住んでいる地域や学校の近くでも進入していく車をよく見かけます。

地域の方々が声をかけても、その数が減る様子はありません。例えば時間指定の標識を信号機の真横につけたり、遠くからでも見えるように標識を大きくするなどの工夫をする必要があると思います。

また、依知南小学校周辺にはスクールゾーンがあり、30キロメートル制限の道路となっています。しかし、道路に書いてある30の文字が消えていて、たくさんの児童・生徒が通る中、スピードを出した車が通り、危険に感じます。30の文字と横断歩道も消えているため、書き直し等をしてほしいです。

そして、国道129号は、脇道が狭いのに交通量が多いので、通学路だけでも道幅を拡張できないでしょうか。

これら3つの提案についてお答えください。

○原 乃ノ穂議長 次に、小鮎中学校・牧村愛羽議員。

○10番 牧村愛羽議員（登壇）小鮎中学校の牧村愛羽です。よろしくお願ひします。

私の中学校では、学校から家までの距離が2キロメートル以上ある生徒が何人もいます。同じ中学校に通っていても、通学にかかる時間の差が大きいと感じます。距離が遠いだけではなく、山のように坂の上り下りが多い通学路があるので、通学などに時間がかかってしまいます。

調べたところ、神奈川県内では、自転車通学が認められている公立中学校もあると知りました。小学生には厳しいかもしれませんが、中学生なら自転車など自分で管理できるはずで、中学生は自転車関係の事故が多いのは分かりますが、高校生になれば自転車通学をする人が増えるので、今から慣れておいて損はないと思います。

また、自転車通学が認められれば、通学や帰宅にかかる時間が短縮され、その分、勉強や趣味、習い事などの時間が増えたりとメリットがあります。

厚木市立の中学校での自転車通学について、認めていただけるか教えてください。

○原 乃ノ穂議長 市長。

○小林常良市長（登壇）依知中学校・畠山桃亜議員から、通学路における標識の工夫や道幅の拡張への考えはどの御質問ですが、まず、道路の規制標識である時間指定や30キロメートルの速度制限、横断歩道などの路面標示につきましては、神奈川県公安委員会が設置し、管理をしています。このため、厚木市としては、道路の規制標識とは別に、ドライバーへの注意喚起のため看板を設置するとともに、必要に応じて、標識や路面標示の改善について、厚木警察署を通じ、神奈川県公安委員会に要望しています。

次に、国道129号の脇道については、国道が混んでいるときの迂回路や地域の生活道路として利用されている道路であり、交通量も多い状況です。通学路には、このように交通量が多い道路や見通しの悪い交差点がある道路などもあり、児童・生徒の皆さんが安心して安全に通学することができるよう、今年度、通学路の安全対策に最優先で取り組んでいるところです。

また、道路を広げるためには、道路用地として新たに土地を取得しなければならないため、整備までには多くの時間が必要となりますが、引き続き、地域の皆様の御意見をお聞きしながら、効果的な安全対策を進め、交通事故の発生を未然に防ぐための道づくりを行ってまいります。

畠山桃亜議員も、交通安全について今後も関心を持ち続けていただき、交通事故のない安心・安全なまちづくりと一緒に目指していきましょう。

私からは以上でございます。

○原 乃ノ穂議長 教育長。

○佐後佳親教育長（登壇）小鮎中学校・牧村愛羽議員から、中学校への自転車通学を認めることはできますかとの御質問でございますが、教育委員会では、中学校選択制を導入していることや、小学校に比べて中学校の数が少ないことから、市内の中学生の一定数が時間をかけて通学していることは認識しています。

また、自転車通学により生じた時間を活用

して下校後の生活を充実させることはよい取組ですが、各学校では、生徒の皆さんの安全面に配慮し、徒歩での通学を基本とし、遠距離の場合はバスの利用を許可しています。

昨年度、市内では、市立中学校の生徒の自転車事故が14件発生しており、これは中学生が関わった交通事故の8割以上を占めています。中学校卒業後のことも含め、このような事故を防止するため、各学校では、自転車交通安全教材チリリン・タイムを活用するなどして交通安全教育をしています。

牧村愛羽議員も、今後、生徒の皆さんと通学の安心・安全について話を重ね、より充実した学校生活の実現を目指してください。

○原 乃ノ穂議長 以上で第5グループの質問を終わります。

次に、第6グループの質問に移ります。

厚木中学校・鈴木悠斗議員。

厚木中学校・岩坂瞳議員。

厚木中学校・庭木創大議員。

最初に、厚木中学校・鈴木悠斗議員。

○11番 鈴木悠斗議員 (登壇) 厚木中学校の鈴木悠斗です。よろしくお願ひします。

ここ数年、商業施設の跡地のほとんどにマンションが建っていると思います。最近だとイトーヨーカドー跡地にマンションが建ちました。

厚木市は、住みたい街ランキングで1位を獲得し、あつぎ元気プランを計画しています。しかし、商業施設が減れば、買物客などが他市に流れ、厚木市の活気が失われてしまうと思います。私は、人口が増えるのとともに商業施設が増えれば、厚木市はもっと活気のあるまちになると考えています。

質問です。

厚木市の商業施設はなぜ減少しているのか。

また、誘致についてどうお考えですか。

○原 乃ノ穂議長 次に、厚木中学校・岩坂瞳議員。

○12番 岩坂 瞳議員 (登壇) 厚木中学校の岩坂瞳です。よろしくお願ひします。

私は本厚木駅の近くに住んでいます。少し前までは公園で遊んでいましたが、今は市外のショッピングモールなどで買物をしたりして遊んでいます。厚木には、10代が楽しめるような店舗や場所がありません。新しいお店ができて、すぐになくなってしまったり、空き店舗が目立っていると思います。また、本厚木駅周辺は、パチンコ屋、飲み屋、風俗店などがたくさんあり、環境がよくありません。私たち住民も、市外の人たちも、本厚木駅周辺で楽しめる場所があるとは思えません。

本厚木駅周辺に再開発の計画があるのは聞いたことがあります。しかし、私たち10代は今を楽しみたいです。若い人たちが日常的に集まれば、本厚木駅周辺ももっと活気づくと思います。

ちなみに、今回質問するために、過去の子ども議会の会議録を読みましたが、平成26年から同様の質問がたびたびされています。

質問です。

私たち10代が安全で楽しめるまちにするためには、どのようにすべきだとお考えですか。

また、平成26年から今まで何も改善していないように見えるのですが、そのことをどうお考えですか。教えてください。

○原 乃ノ穂議長 次に、厚木中学校・庭木創大議員。

○13番 庭木創大議員 (登壇) 厚木中学校の庭木創大です。よろしくお願ひします。

僕が住む厚木地区は駅に近く、店もたくさんあり、大変便利な場所です。中央公園や図書館も学校から近いのでよく利用しています。しかし、この環境も夜になると一変します。一番街周辺の道路は明るいのですが、僕たち小・中学生から見ると少し近寄りたいたい雰囲気です。以前、塾の帰りに自転車で通りかかると、スーツ姿の男の人にいきなり大声で脅かされ、とても怖い思いをしました。塾が終わる夜9時過ぎは多くの友人が自転車で帰宅しており、僕たちにとって特別に遅い時間帯ではありません。

本厚木駅周辺の治安について質問いたします。

市民の皆さんが、夜、安心して帰宅できるような環境づくりについて、対策やお考えがあれば教えてください。

○原 乃ノ穂議長 市長。

○小林常良市長 （登壇）厚木中学校・鈴木悠斗議員から、厚木市内の商業施設の減少及び誘致についての考えはどの御質問ですが、店舗面積の合計が1000平方メートルを超える大規模小売店舗、いわゆる商業施設の数は、厚木市内全体で見ますと、ここ数年増加しています。

しかしながら、御指摘のとおり、最近は、厚木市に限らず全国的に駅周辺の商業施設が撤退し、その跡地にマンションが建つという事例も増えています。その理由としては、ライフスタイルの変化により、買物の際、インターネットを利用する方や、郊外にある駐車台数の多い複合店舗を利用する方が増えたこと、また、駅周辺のマンションに住みたい方が増えたことなどが考えられます。

鈴木悠斗議員が言われるとおり、商業施設が減ると厚木市の活気が失われることにもなりますので、本厚木駅周辺で大規模な商業施設が不足することになったときは、すぐに出店してもらえよう、5年間で最大3億円の誘致に向けた補助制度を用意しています。

これからも引き続き魅力あるまちづくりを進めていきますので、鈴木悠斗議員も、市の取組に大いに関心を持っていただくとともに、ぜひ厚木市内で買物をしていただくようお願いいたします。

次に、厚木中学校・岩坂瞳議員から、本厚木駅周辺における10代が楽しめる場所についての考えはどのお尋ねでございますが、本厚木駅は、1日10万2000人を超える皆さんが利用され、乗換えのない私鉄駅として全国屈指の乗降客数を誇る駅であり、駅周辺の中心市街地では、歩いて楽しい、居心地のよい空間を目指しています。

まちの魅力や安全性を高めるため、これまでに、北口駅前広場への交番の移設や南口の

再開発なども行ってきました。

また、市民の皆さんが夜間に不安を感じたり、怖い思いをしたりしないよう、市民協働によるセーフコミュニティの取組を進め、平成26年に769件あった本厚木駅周辺の刑法犯認知件数を昨年は365件減らすことができ、安心・安全なまちづくりの成果も上げることができました。

今後は、10代の皆さんも楽しめる図書館やプラネタリウムを含めた複合施設の整備をはじめ、北口駅前やバスセンターのリニューアルも進めていきます。魅力の発信にも力を入れていきますので、ぜひ注目してください。

また、建物や広場の工事だけでなく、空き店舗への新しいお店の出店支援や近隣市にない特徴的なイベントも開催しています。今年は鮎まつりや国際大道芸も3年ぶりに開催しますので、イベントと併せてまちの魅力も改めて感じてもらいたいと思います。

厚木市では、あつぎにぎわいアドベンチャー隊という市内の大学生で組織する団体があります。ハロウィンやクリスマスの時期には、地域の商業者の皆様と一緒に、若者ならではの発想や行動力でまちを盛り上げてくれています。

まちのことをとても大切に考えている岩坂瞳議員も、これから様々なことに挑戦していただき、歩いて楽しいまちと一緒に楽しくてくついでいけることを楽しみにしています。

次に、厚木中学校・庭木創大議員から、本厚木駅周辺の夜の治安改善への考えはどの御質問ですが、厚木市では、本厚木駅周辺の取組として、地域の皆様や警察と力を合わせて夜間パトロールを実施しているほか、中心市街地の安心・安全活動の拠点となるあつぎセーフティーステーション番屋に客引き行為等指導員を配置して、夜間のパトロールを行い、悪質な客引き行為に対する指導を実施しています。

また、本厚木駅周辺には、防犯カメラを28か所、65台設置するなど、路上などでの犯罪を未然に防ぐための環境づくりに努めているところです。

これらの取組の結果、本厚木駅周辺における刑法犯認知件数は、最も多かった平成13年に2265件であったものが、昨年は404件となり、1861件、約82%減少しています。

これからも市民の皆様が安心して安全に暮らせる環境づくりに取り組んでいきますので、庭木創大議員も、塾の帰りなどに困ったことがありましたら、あつぎセーフティステーション番屋に遠慮なく相談してください。

○原 乃ノ穂議長 以上で第6グループの質問を終わります。

ただいまの第4グループ、第5グループ及び第6グループの質問に対する答弁について、子ども議員から再質問はございますか。——別になければ以上で終わります。

ここで10分間休憩いたします。
午後2時37分 休憩

午後2時46分 開議

○井上 駆議長 再開いたします。

第7グループの質問に移ります。
小鮎中学校・池田優芽議員。
睦合中学校・梅澤宣考議員。
最初に、小鮎中学校・池田優芽議員。

○14番 池田優芽議員（登壇）小鮎中学校の池田優芽です。よろしくをお願いします。

私は、厚木市に障害がある人が通う特別支援学校がないことに疑問を持ちました。きっかけは、母が小学校の介助員をやっており、支援学級の子供たちと身近に接する中で、学校の支援学級の先生は専門の先生が配置されているわけではないので、もし厚木市にそのような学校があれば、もっと子供たちも過ごしやすいのではないかと話していたことです。もちろん私たちが通う学校で生活することも互いによい影響を与えることができると思いますが、そのような環境の中で生活しにくいと感じる人もいると考えます。

教育環境に力を入れてくださっている厚木市に特別支援学校があれば、保護者の不安に寄り添える場が増え、障害がある人にとって伸び伸びと生活できる環境になり、よりたく

さんの人が未来で活躍できると思います。

以上のことから、私は、厚木市に特別支援学校はつくらないのかについて質問します。

○井上 駆議長 次に、睦合中学校・梅澤宣考議員。

○15番 梅澤宣考議員（登壇）睦合中学校の梅澤宣考です。よろしくをお願いします。

体育館では、夏場は通気性が悪くて、熱気がこもったまま授業を受けなければいけません。また、冬場は寒いですが、集会のときにストーブは出ていて、先生がつけてくださっています。けれど、それだけでは温かくなりません。他学校の対応は分かりませんが、私の学校では、対応をしても解決ができておらず、不満の声が多かったので、この意見を出させていただきました。

質問します。

体育館にエアコンをつける考えはありますか。

以上で質問を終わります。

○井上 駆議長 教育長。

○佐後佳親教育長（登壇）小鮎中学校・池田優芽議員から、障害者のための特別支援学校を設置する予定はありますかとの御質問ですが、教育委員会では、特別支援学級の児童・生徒一人一人が生き生きと学校生活を送ることができるよう、学校の先生に研修を実施しています。例えば特別支援学校の先生方を講師としてお招きし、子供たちへの支援の方法を具体的に学んだり、協議などを通して互いの考えを深め合ったりしています。また、全ての子供ができるだけ同じ場で共に学び、共に育つことを目指すインクルーシブ教育を推進しています。

なお、現在、厚木市では、市立の特別支援学校の設定予定はありませんが、特別支援学校分教室の設定については、毎年、県へ要望しています。

池田優芽議員も、障害のあるなしにかかわらず互いの違いを認め合い、助け合う共生社会の実現に向けて一緒に取り組んでいきましょう。

次に、睦合中学校・梅澤宣考議員から、体

育館へのエアコン設置の考えはとの御質問ですが、市立小・中学校の体育館の冷暖房については、スポットエアコンや大型扇風機、大型暖房機などで対応しているところですが、近年の猛暑などにより、快適な教育環境を確保するためには厳しい状況であることは認識しております。

空間が広い体育館にエアコンを設置するには、効率的な温度管理を行うために、建物の断熱性能を上げるなどの工夫が必要です。このため、体育館へのエアコン設置については、省エネルギー対策を考慮しながら、施設の目標耐用年数を迎える体育館の建て替えや大規模改修などの計画に基づき研究を進めていきます。

なお、市立小・中学校では、快適な教育環境を整えるために、今年度から令和8年度までの5年間で特別教室にエアコンを設置していく予定です。

梅澤宣考議員をはじめ厚木市の児童・生徒の皆さんが安心して安全に学校生活を送ることができるよう、教育環境日本一を目指し、学校施設の適切な維持管理に努めていきます。

○井上 駆議長 以上で第7グループの質問を終わります。

次に、第8グループの質問に移ります。

小鮎中学校・清水雷斗議員。

睦合中学校・山本煌心議員。

最初に、小鮎中学校・清水雷斗議員。

○16番 清水雷斗議員（登壇）小鮎中学校の清水雷斗です。よろしくお願いいたします。

現在、小鮎中学校の図書室には、生徒の要望に応え、いろいろな種類の本がたくさん並べられています。しかし、学年によっては本を読む人数が少なく、あまり読まれていない本も数多くあります。

そこで、授業の一環として図書室を利用する時間を設け、その時間を通じて生徒一人一人にいろいろな本を読んでほしいと思っています。そして、読んだ本の中から興味がある本を見つけてもらい、少しでも図書室を利用する機会が増えてほしいと思っています。

授業の一環として図書室を利用する時間を設けることができるのかについて教えてください。

○井上 駆議長 次に、睦合中学校・山本煌心議員。

○17番 山本煌心議員（登壇）睦合中学校の山本煌心です。よろしくお願いいたします。

近頃、インターネット社会が世間でなじんできています。皆さんもインターネットを利用することはあると思います。私たちの通う学校、睦合中学校では、クロームブックを使い、調べ学習などに活用しています。しかし、その調べ学習以外では、クロームブックをあまり多く活用していません。また、生徒たちからも、もっと多くクロームブックを活用したいという声をよく耳にします。

そこで、クロームブックの活用幅をもっと広げてみてはどうでしょうか。例えば生徒会の中央委員会での試験的な使用、プログラミングソフトのスクラッチの使用など、様々な活用方法を試してみてもどうでしょうか。生徒たちの学力向上にもつながると思います。

クロームブックの活用幅をもっと増やしてみてもどうでしょうか。御検討よろしくお願いいたします。

○井上 駆議長 教育長。

○佐後佳親教育長（登壇）小鮎中学校・清水雷斗議員から、授業の一環として図書室を利用する時間を設ける考えはとの御質問ですが、学校図書館は、図書館資料を使って授業を行うなど、学習の場所としての役割と、児童・生徒の皆さんが自由に好きな本を選び、読書を楽しむことができる場所としての役割があります。また、学習指導要領では、各教科等の授業の中で、学習内容や目的に沿って学校図書館を計画的に利用することとされていますが、コロナ禍においては、学校図書館を利用した学習活動が難しい状況にあると聞いています。

多くの生徒が学校図書館を利用し、授業の内容を豊かにしてその理解を深めたり、落ち着いた環境の中で読書に親しんだりしてほしいとの願いは教育委員会としても同じであ

り、今後も学校とともに学校図書館の環境整備を進めていきます。

清水雷斗議員も、生徒会活動などを通じて友達に呼びかけたり、読書に親しむ楽しい企画を提案したりするなど、本の魅力を校内の皆さんに伝えていってください。

次に、睦合中学校・山本煌心議員から、クロームブックの活用幅をもっと広げることへの検討はとの御質問ですが、現在、市立小・中学校では、調べ学習におけるインターネット検索のほか、アプリケーションソフトによる発表資料作りや話し合い活動、意見交換などでクロームブックを積極的に活用しています。そのほかにも、カメラ機能を使って、体育や音楽、図工や美術などの時間に自分の学習の成果を確認し、次の学びにつなげる取組も行っています。

また、一部の学校では、委員会活動や係活動などで、生徒自らが発案し、生徒全員に伝えたい情報を配信したり、アンケートを実施したりしています。教育委員会では、このような学校の様子を常に情報発信し、全ての学校で活用の幅が広がるよう努力していきます。

山本煌心議員も、ぜひ御自身が所属している委員会活動などで、また、日々の学習の中で、自分自身の学びを深めるためにクロームブックを大いに活用してほしいと思います。

○井上 駆議長 以上で第8グループの質問を終わります。

次に、第9グループの質問に移ります。

睦合中学校・田崎開成議員。

睦合中学校・小本真子議員。

最初に、睦合中学校・田崎開成議員。

○18番 田崎開成議員（登壇）睦合中学校の田崎開成です。よろしくをお願いします。

今回、私が質問させていただく内容は、なぜ制服で登下校する必要があるのかについてです。

質問をした理由は2つあります。

1つ目は、男子の制服は夏は蒸し暑く、女子の制服は冬とても寒いことです。男子の制服は登下校時にズボンがとても蒸れ、女子の

制服は足が出ているため、冬の冷たい風をそのまま受けてしまいます。

2つ目は、ジャージ登下校のほうが圧倒的に楽な上、時間を有効に使う鍵になるということです。もちろん動きやすいからということもありますが、朝、学校へ来て、制服を脱ぎジャージを着る、私はこの時間をもっと有効に使えるのではないかと考えます。

このように、ジャージ登下校にすれば登下校中の体調不良は減るでしょうし、時間をさらに有効に使うことができます。これでもなぜ制服登下校なのかお答えください。

また、理由がないのであれば、厚木市の公立中学校全てにジャージ登下校を許可してください。お願いします。

○井上 駆議長 次に、睦合中学校・小本真子議員。

○19番 小本真子議員（登壇）睦合中学校の小本真子です。よろしくをお願いします。

私は、地域でよく看板が掲示してあるのを見ます。ですが、どの看板も古くなってしまっていたり、色あせてしまっていて、何を知らせたいのか分からないものばかりです。

そこで質問します。

地域に掲示してある看板を新しく募集し、掲示し直す予定はありますか。

私がそう思った理由を話します。私はよく散歩をするのですが、そのときに、飛び出し禁止の看板があるのに、飛び出してきた自転車とぶつかりそうになったことがありました。そうしてよく看板を見たら、色あせていて、文字を読むことが全然できませんでした。

質問します。

今後、地域に掲示してある看板を新しく募集し、掲示し直す予定はありますか。

以上で質問を終わります。

○井上 駆議長 教育長。

○佐後佳親教育長（登壇）睦合中学校・田崎開成議員から、ジャージ登下校を許可する考えはとの御質問ですが、制服は、中学生の皆さんが社会に出た際に必要な基本的な生活習慣を身につけ、規範意識に基づいた行動を

取れるよう、基準の服装として定められています。学校は社会的習慣を学ぶ場でもあり、登下校や儀式的行事、進路に関わる場面等で制服を着用し、場面に応じた社会性を身につけるきっかけにしてもらいたいと考えています。

また、各学校では、冬の寒い時期の防寒着の着用、夏の厳しい暑さや新型コロナウイルス感染症などの影響を考慮したジャージ登下校、スカートとスラックス等の制服の選択など、皆さんの心身の健康を考えた対応をしています。

さらに、ジャージ登下校が認められている学校の中には、生徒がその必要性を訴え、生徒総会で議論し、決まりを変えた事例もあります。

田崎開成議員が、今回の質問も含め、学校生活をより充実させるために働きかけ、よりよい睦合中学校をつくる担い手となることを期待しています。

私からは以上でございます。

○井上 駆議長 市長。

○小林常良市長（登壇）睦合中学校・小本真子議員から、地域に掲示している看板を新しくするのはどうですかとの御質問ですが、地域に設置されている看板は、市が設置したものと自治会等が設置したものとがあります。看板の管理は設置者が行うものであり、市が設置した看板については点検やパトロールを実施し、古くなったものや壊れたものについては撤去や新しいものへの交換をしています。

また、自治会等が設置したものについても、引き続き適正な管理をお願いしていきます。

なお、飛び出し注意やスピード落とせなどの注意看板は、自治会を通じて地域からの要望を受けて市が設置していますので、自治会等と連携し、古くなった看板の早期発見と交換を進めていきます。

小本真子議員も、古くなった看板や新たな地域の課題を見つけたときには市にお知らせいただき、一緒に暮らしやすいまちづくりを

進めていきましょう。

○井上 駆議長 以上で第9グループの質問を終わります。

ただいまの第7グループ、第8グループ及び第9グループの質問に対する答弁について、子ども議員から再質問はございますか。山本議員。

○17番 山本煌心議員 御答弁ありがとうございます。再質問させていただきます。

スクラッチは使うことができますか。使えるところしたら、いつから使えますか。

○八木義之学校教育部長 最初の質問につきまして、結論から申し上げますと、スクラッチを使うことはできます。スクラッチは、プログラミングの一つとして、インターネット上で体験したり、活用したりすることができます。詳しい方法などは、技術科の先生などに相談してもらえるとよく分かると思います。

スクラッチを活用した学習は、小学校5年生の算数の多角形の作図という学習の中で行われていますが、中学校では、技術科の学習の中で、スクラッチとは限りませんが、プログラミングとはどういうものか、その役割について学習します。あくまでも教科学習の中でプログラミングとはどのようなものかということ学ぶ範囲にとどまっていますので、スクラッチや他のプログラミングソフトを用いて、プログラミング自体そのものを学ぶことが目的となるものではありません。そのため、現段階では、スクラッチ以外のプログラミングソフトを導入する予定もございません。

○井上 駆議長 ほかに子ども議員から再質問はございますか。清水議員。

○16番 清水雷斗議員 御答弁ありがとうございました。

先ほど教育長から、図書室を授業の一環として利用するに当たって、現在、コロナウイルス感染などで利用することが厳しいと言っていたのですが、小鮎中学校では、音楽室などを利用する際に、透明な壁などの感染対策をして今も利用したりしているのですが、図

書室でもそのような感染対策をして利用することはできませんか。

○八木義之学校教育部長 清水議員の学校の状況につきましては、私のほうは詳細がちょっと分かりませんので確かなことはお答えできないのですが、図書室の、例えば一つのテーブルに6人とか、複数の方が座るような配置をされている学校が多いかと思えます。ソーシャルディスタンスというような形で、一つの空間を使うときに、できるだけ距離を空けて使用することが感染対策の一つになっておりますので、できるだけそういった環境をつくって学習するというケースについては、図書室はちょっと感染対策上、使いにくい。あるいは感染症の拡大が比較的収まってから使うというようなことを考えられているのではないかと思えます。

つい立て等を用いて感染対策を行うことは非常に有効な手段だと思いますので、その辺は学校の先生に御相談していただいて、活用したいという思いをお伝えいただければと思います。

○井上 駆議長 ほかになければ以上で終わります。

○井上 駆議長 以上で本日の日程は終了いたしました。

これもちまして、第4回あつぎ子ども議会中学生議会を閉会いたします。

○望月真実副実行委員長 皆様、本日は大変お疲れさまでした。

ここで、南毛利中学校・松澤歩議員より、子ども議員を代表して感謝の言葉をいただきます。

松澤歩議員、お願いします。

○8番 松澤 歩議員 子ども議員起立。

一同、礼。

南毛利中学校3年の松澤歩です。22人の子ども議員を代表してお礼の言葉を申し上げます。

本日は、私たち子ども議員の意見や質問にお答えくださり、ありがとうございました。

このような場で発言をさせていただいたことは、とても貴重な体験であり、また、私たちの成長にも大きくつながると思います。私たちは、厚木市の子供として、本日の経験を今後の生活に生かせるよう精進してまいりますので、これからもよろしくお願いいたします。

以上、子ども議員を代表して、お礼の言葉とさせていただきます。本当にありがとうございました。

子ども議員一同、礼。

着席。

○望月真実副実行委員長 ありがとうございました。

最後に、小林常良厚木市長から子ども議員にメッセージをお願いします。

○小林常良市長 (登壇) 皆さん、お疲れさまでございました。どうでしたか。

皆さんの大変貴重な御意見、お話を聞かせていただきまして、改めてお礼を申し上げさせていただきます。

ふだん生活をしている中で、いろいろな疑問点、厚木市ってどんな仕事、どんな取組をしているのかなという問いかけ、そして、学校生活をしていく上でいろいろな疑問に思ったこと、こうあってほしいこと、そういうもろもろのお話を聞かせていただきました。

皆さんは、次代をしっかりと受け止めて育てていただく、そういう立場にいられると思います。それぞれの中学で、勉強に、友達に、そしてスポーツに、いろいろな思いを持ってたくさん取り組んでいてほしいと思います。情熱を持って一つのことにチャレンジをしていく。その中学校生活の延長沿いに、大人になっていく上の大切な礎が醸成されていくものだと思っております。私たち厚木市も、皆さんが生活しやすいよりよい環境を、直接こうやって話を聞かせていただくことによって、実現に近づけていきたいと思えます。

今日、私たちは、皆さんの意見を通してたくさんいろいろなことを勉強させていただきました。切磋琢磨という言葉がございます。

共にいろいろな知恵を出し、意見を出し合っ
て、社会は次の時代を迎えていくと思いま
す。今日のことをぜひ大事にしていてほし
いと思います。

そして、最後ですが、厚木のことをもっと
もっと好きになっていただけるよう、共に前
進をしていきたい。こんなお気持ちを伝え
て、私からの皆さんへの挨拶とさせていただ
きます。またどこかで、まちの中でお会いし
ましたら、その節はお世話になりましたと声
をかけていただければありがたいと、こんな
ふうに思います。大変お疲れさまでした。あ
りがとうございます。

○望月真実副実行委員長 ありがとうござい
ました。

以上をもちまして終了とさせていただきます。

午後3時18分 閉会

上記会議のてんまつを記載し、その相違な
いことを証し、ここに署名する。

厚木市議会議長	井 上	武
子ども議員	落 合	凜 帆
同	鈴 木	悠 斗
同	小 本	真 子